

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		新型コロナウイルス感染症対策事業費 [新型コロナウイルス感染症対策事業]（国庫補助事業）													
予算科目	款	10	教育費	項	2 3	小学校費 中学校費	目	1	学校管理費	事業番号	3				
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）														
担当部署・課長名		教育総務			課			学務			係	課長名	斎藤 謙二郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1		－		1	
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 （ページ）		31					
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）									
	学校					15校									
	→														
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）									
感染症対策物品の充実					予算額（繰越明許含む）										
→															
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）										
物品の購入					予算執行額（繰越明許含む）										
→															
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標							
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標		令和5年度目標					
	対象指標	①の数値	校	0	15	15									
	成果指標	②の数値	円	0	79,034,000	27,180,356									
	目 標	②の目標値	%	0	100	100									
		目標値設定の考え方 学校の新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、児童・生徒等への感染症対策を図る。													
活動指標	③の数値	日	0	60,447,967	19,042,267										
3 経費	事業費（実績）		円	0	61,271,621	19,042,267		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）							
	財源	一般財源	円	0	2,184,621	9,522,267									
		特定財源（国・都・他）	円	0	59,087,000	9,520,000									
		（うち受益者負担）	円	0	0	0									
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.0	0.4	0.4									
		所要人数（再任用）	人	0.0	0.0	0.0									
		職員人件費（再任用以外）	円	0	3,352,000	3,300,000									
		職員人件費（再任用）	円	0	0	0									
事業費＋人件費		円	0	64,623,621	22,342,267										
4 環境変化等	（1）開始年度		2 年度												
	（2）環境の変化 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、小・中学校における児童・生徒等への感染症対策が必要不可欠となった。 （学校配当により、各学校で新型コロナウイルス感染症対策物品を購入）														

事業名称	新型コロナウイルス感染症対策事業費 [新型コロナウイルス感染症対策事業] (国庫補助事業)				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 補助金の概要が出てから交付申請までの期間が短いので、スケジュール管理と学校との連携が課題である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 補助金の交付申請や補正予算の対応等の事務手続について、学校との連携や財政課との調整を図りながら、適切なスケジュール管理のもと実施した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 新型コロナウイルス感染症対策のための国の補助金は、年度途中で補助事業が新設されることが多く、補助金を有効活用して感染症対策を実施するためには、学校との連携や財政課との調整を図りながら、補助金の交付申請や補正予算対応等の短期間で煩雑な事務手続を行う必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 学校の新型コロナウイルス感染症対策については、国の補助金を活用するとともに、感染症対策に必要な消耗品や備品の予算を学校に配当することで、児童・生徒等への感染症対策を行う。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	国の補助金を有効に活用するにあたり、煩雑な事務手続を遅滞なく行うことが重要となることから、適切なスケジュール管理、学校との連携及び財政課との調整が必要である。				